

議会 ながのはらまち だより

2019
OCTOBER
10
No.121

8月臨時会や9月定例会の内容をお伝えします

高校生の声
聞いてみた



QRコードから議会
だよりをダウンロード
できます



表紙：長野原高校との懇談会（関連2-3頁）



高校生の意見聞く
貴重な場

9月13日、議場を会場に長野原高校との懇談会を開催しました。この懇談会は、平成27年の公職選挙法改正により選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、主権者教育の一環として開始されました。現在では、本町議会議員が高校生の意見や考えを

長野原高校との懇談会

将来担う世代 議会と交流

第3回目となる長野原高校との懇談会では、多くの質問や意見をいただきました。

長野原高校 × 長野原町議会

直接聞くことができる貴重な場として大切な役割を果たしています。

町を担う
頼もしい抱負も

今回で3回目となる懇談会では、生徒会役員や観光甲子園を目指す生徒の皆さん計11名が参加し、町に対する質問をしていただきました。多くの質問を受ける中で「良い視点。この姿勢を大事にしてほしい」「現実的に難しい問題

今回参加していただいた生徒の皆さん

(上段左から) 山本梓穂さん・割田あずみさん・山田一輝さん・伴瀬あゆかさん
(中段左から) 小暮彩乃さん・池田理穂さん・山崎柊さん・竹内琉奈さん
(下段左から) 佐藤晴香さん・斉木昇馬さん・西山翔さん



長野原高校との懇談会について

⇒平成28年に第1回、平成30年に第2回懇談会を開催しました。



1. 慣れない議員とのやり取りにも笑顔が見られました。 2. 生徒皆さん独自の視点で多くの質問をいただきました。 3. 議員や生徒皆さんなどが真剣に受け答えを行いました。

懇談会における質疑応答を一部紹介します。

Q. 町の過疎化、原因と対策は？

A. ダム移転や就職などによる転出が要因。明るく活力ある町づくりが大切。

竹内琉奈さん 町でも過疎化が進行していますか。また原因と対策はどのようなものがありますか。

富澤議員 町の人口減少は深刻です。主な要因は八ッ場ダム建設に伴う移転、就職や進学などによる転出が挙げられます。そこに全国的な少子高齢化が拍車をかけている状況です。

このような中、町では空き家バンクをはじめとした移住定住促進施策などを進めています。全国的な人口減少などは町だけで食い止めることはできませんが、明るく活力ある町づくりを積極的に進めていくことが大切だと考えています。

長野原高校生徒の皆さん、
ありがとうございました！！



懇談会の感想を
いただきました



生徒会副会長
さとう はるか
佐藤 晴香さん
(町立西中学校出身)

もあるが、将来を担う世代も参加して我々と共に考えてほしい”など議員からエールを送る場面もあり、生徒皆さんとの交流を深めることができました。

また生徒皆さんには将来の夢などを語っていただきました。看護師や保育士など、具体的な話を伺う中「美容師になり、いつか町でお店が出せたらと思っています」「町役場職員を目指したい。生まれ育った町に少しでも貢献できたら」など町の将来を担う頼もしい抱負も聞くことができました。

今回は、町議会の見学や懇談会など普段体験できない貴重な体験をさせていただきました。また懇談会では、私たちの質問に対して、わかりやすく丁寧にお答えいただき、ありがとうございました。

議会では町長や議員などの方が真剣に町の未来について議論していました。今まで私は堅苦しい内容を議会で議論していると思っていましたが、実際の様子を見て、とても興味を引かれました。難しい内容で

したが私たちの生活に関わる身近な問題を議論していることがわかり、対策や解決策を一つ一つ考えて、町をもっと住みやすく、豊かな町にしていこうという想いが伝わってきました。地域の人へのあいさつや通学路に落ちているゴミを拾うなど、私たちでもできることを考え、地域に貢献できるよう頑張りたいと思います。

また今回のような有意義な時間をつくっていただけたら、うれしく思います。



8月臨時会と9月定例会で こんなことが決まりました

○ 8月臨時会（会期 8/6）

財産取得		1 件
工事請負・委託契約		3 件
補正予算		1 件
合 計		5 件

主なものを当ページより掲載します。

○ 9月定例会（会期 9/3 - 9/19）

行政報告		1 件
人事案件		2 件
条例制定・改正		6 件
工事委託契約		2 件
補正予算		3 件
決算認定		1 1 件
その他		3 件

合 計 **2 8 件**

県・町民税均等割 税率表

県民税均等割区分	～令和 5 年度	令和 6 年度～
上乗せ前の額	1,000円	1,000円
防災施策の財源	500円	—
ぐんま緑の県民税	700円	※700円
合 計	2,200円	※1,700円

※令和 6 年度以降については未定

町民税均等割区分	～令和 5 年度	令和 6 年度～
上乗せ前の額	3,000円	3,000円
防災施策の財源	500円	—
森林環境税	—	1,000円
合 計	3,500円	4,000円

条例改正

令和 6 年度より 森林環境税を課税

条例により
関連基金を創設

9月定例会（3日）に
森林環境譲与税基金を設
置する条例を可決しまし
た。この基金は今年度か
ら国より交付される森林

環境譲与税を積み立てる
もので、全て森林整備事
業などに充てられます。

町個人住民税から
徴収されます

この譲与税に充てる財
源として令和 6 年度より
森林環境税（年額千円）
が課税され、町の個人住
民税均等割とあわせて徴
収されます。（表参照）
この一方、令和 5 年度
で県・町民税均等割とあ
わせて徴収している防災
施策に充てる財源分（年
額各 500 円）の課税期
間が終了となります。

■ 8 月臨時会で可決した議案一覧

議案番号		議案名	内 容	関連
議案	1 号	財産の取得（消防ポンプ自動車購入）	消防団（応桑分団）に配備する消防ポンプ自動車を取得するもの。	—
	2 号 4 号	工事請負・委託契約の締結（3 件）	ハッ場ダム関連工事 3 件について契約を締結するもの。	7
	5 号	一般会計補正予算	令和元年度一般会計予算を補正するもの。	6

■ 9 月定例会で可決した議案一覧

議案番号		議案名	内 容	関連	
報告	1号	財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告	平成30年度決算における当該比率について報告するもの。	11	
同意	1号 2号	人権擁護委員候補者の推薦	当委員の任期満了に伴う篠原博史氏（再任）、豊田幹雄氏（新任）の推薦について意見を求めるもの。	—	
議案	1号	職員の給与に関する条例及び職員等の旅費に関する条例の一部改正	関連法制定に伴い、成年被後見人などを資格・職種・業務などから一律に排除する規定を適正化するため、各条例の整備を行うもの。		—
	2号	表彰条例の一部改正			
	3号	消防団員の定数、任免、給与、服装等に関する条例の一部改正			
	4号	森林環境譲与税基金条例	森林整備などに必要な地方財源を確保するための森林環境税・森林環境譲与税創設に伴い、当基金条例を制定するもの。	4	
	5号	公共下水道条例及び浄化槽整備条例の一部改正	消費税増に対応する改正や指定給水装置工事事業者の指定更新料を新たに規定するもの。	—	
	6号	浅間高原水道給水条例等の一部改正			
	7号	普通財産の譲渡	町の普通財産（公衆用道路・用悪水路）39筆を国土交通省へ譲渡するもの。		
	8号	町道路線廃止（21路線）	ハッ場ダム建設に伴い道路機能が失われた川原畑や川原湯地区などの計21路線を廃止するもの。		
	9号	字の区域変更（大字川原湯地区）	代替地造成により、複数の字にまたがる区画が生じるため区域の変更を行うもの。	7	
	10号 11号	工事委託契約の締結	ハッ場ダム関連工事委託2件の契約を締結するもの。		
認定	12号 14号	一般会計・2特別会計補正予算	令和元年度一般会計予算や公共下水道事業・介護保険特別会計を補正するもの。	6	
	1号 11号	平成30年度一般会計・10特別会計決算認定	平成30年度一般・各特別会計決算を認定するもの。	8 11	

2020

907万円

東京2020聖火リレー事業

ミニセレブレーションや講演会実施のため業務委託を行います。



202万円

総合運動場

テニスコート改修工事設計業務

未改修である残り4コートのオムニコート化を実施します。

一般会計

聖火リレー 関連事業を実施



150万円

写真展 開催業務委託

長野原町・御代田町・軽井沢町で写真展「浅間国際フォトフェスティバル」を同時開催します。



2,392万円

庁舎等解体工事

旧役場庁舎の解体工事にかかる費用を追加しました。

一般会計補正額一覧（千円以下切捨）

■ 8月臨時会（8/6）

一般会計補正予算（第3号）

7,249万円増額（計155億3,527万円）

■ 9月定例会（9/3）

一般会計補正予算（第4号）

7,952万円増額（計156億1,479万円）

質疑応答

写真展の内容は

問 牧山議員 写真展の詳細内容は、

3町で実施

浅間園も会場に

答 企画政策課長 株式会社アマナと連携し、写真展「浅間国際

写真展「浅間国際

■表 特別会計補正予算一覧（9月定例会）

特別会計	補正額	補正後総額
公共下水道事業	11万円	5億9,142万円
介護保険	1,443万円	6億8,346万円

（千円以下切捨）

問 星河議員 旧庁舎解体にかかる費用

旧庁舎解体費増額の要因は

「フォトフェスティバル」を9月14日から11月10日まで3町同時開催する。本町会場の一つである浅間園では「世界の火山の写真」を展示する予定。



テニスコート 改修の内容は



黒岩議員 今回の
テニスコート改修

は残り4面のオムニコー
ト化を行うものか。テニ
スについては各学校など



総務課長 当初は
標準単価を使用し

設計した。詳細設計を委
託したところ、発生材の
処分に大きな差額があつ
たことや安全対策である
施設の仮囲い費用を計上
していなかったことが主
な要因である。

増の要因は。
発生材の処分など
差額が生じた

残り4面の オムニコート化



教育課長 議員指
摘のとおり残り4

面の改修を実施する。町
としても引き続き可能な
限り応援していきたい。

が活躍する中、モチベ
ーションの向上になると考
える。

聖火リレー事業 委託内容は



牧山議員 聖火リ
レー事業について

はどのような業務委託を
行うのか。

講演会や 祝賀会の設営など



教育課長 聖火リ
レーを盛り上げる

目的の講演会やミニセ
ブレーションにおける会
場設営や司会などを委託
する予定である。

契約の議決

ダム^{関連}工事契約 5件議決

■ 8月臨時会 (8/6)		
工事請負契約		1件
工事委託契約		2件
8月合計		3件
■ 9月定例会 (9/3)		
工事委託契約		2件
9月合計		2件



旧庁舎をモチーフとした横壁地域振興施設（イメージ）

■ 8月臨時会・9月定例会で可決した契約一覧（順不同）

事業・工事名	契約金額	契約先
観光船艇庫新築工事（ダム湖面観光支援）	9,460万円	東光建設株式会社
売店施設新築工事（ダムサイト公園整備事業）	1億192万円	群馬県知事
（仮称）町営水没文化財保存センター外構工事	8,459万円	
横壁地域振興施設整備事業（東・中村外構工事）	1億1,938万円	
ハッ場ダム建設に伴う公園・遊歩道等事業	2億1,000万円	国土交通省 関東地方整備局長

（千円以下切捨）



発生材とは？

⇒工事によって生じるゴミのこと。

新庁舎など整備 最大規模決算



新庁舎と住民総合センター（平成30年度整備事業費17億9,519万8千円）

歳入

113億4,348万8千円

歳出

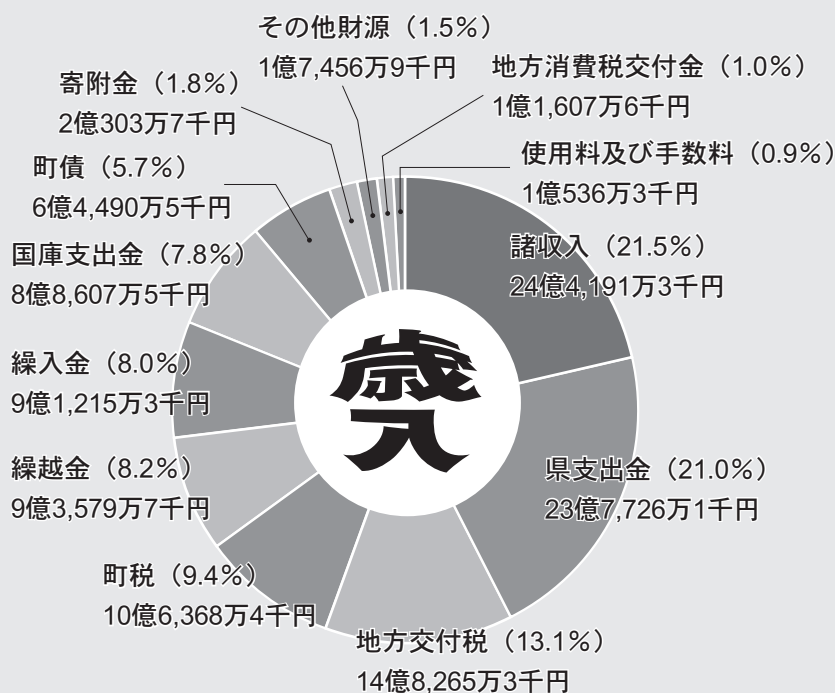
109億6,274万4千円

ダム完成見据え
健全化へ努力を

平成30年度一般会計決算を全員一致で認定しました。（9月定例会・19日）

当年度の歳入は113億4,348万8千円（前年度比15%増）、歳出については109億6,274万4千円（前年度比26・1%）で歳入歳出差引残額は3億8,074万4千円（繰越明許費を含む）となりました。近年でも最大規模決算となった主な要因は、当年度完成を迎えた新庁舎・住民総合センター整備事業や八ッ場ダム関連事業に伴うものです。

今後はダム関連事業が大詰めを迎え、建設された関連施設などの運営管理も課題となる中、引き続き財政健全化に努力する必要があります。



実質収支 (歳入歳出差引額－翌年度繰越額)

3億2,332万6千円

※当該年度における歳入歳出の実質的差額。地方公共団体の剰余金または純損失を表す。

単年度収支 (実質収支－前年度実質収支)

△1億758万3千円

※当該年度の純粋な収支を表す。



76万4千円

児童発達支援施設管理事業

平成30年7月に開所した児童発達支援事業所「ながのはら一会」の管理委託料など。



390万円

起業支援事業補助金

新たに町で起業する方に対し、最大100万円を補助する事業。当年度は4件の補助を実施しました。

平成30年度の 主な事業を 一部紹介します！！



396万9千円

環境保全型農業資材 普及対策事業費補助金

生分解性マルチ（土壤中の微生物によって分解されるマルチ）を購入する農家に対し、通常マルチとの差額3分の1以内を補助するもの。



ハッ場ダム関連事業

現在も様々な事業が実施中となっており、試験湛水も開始となりました。



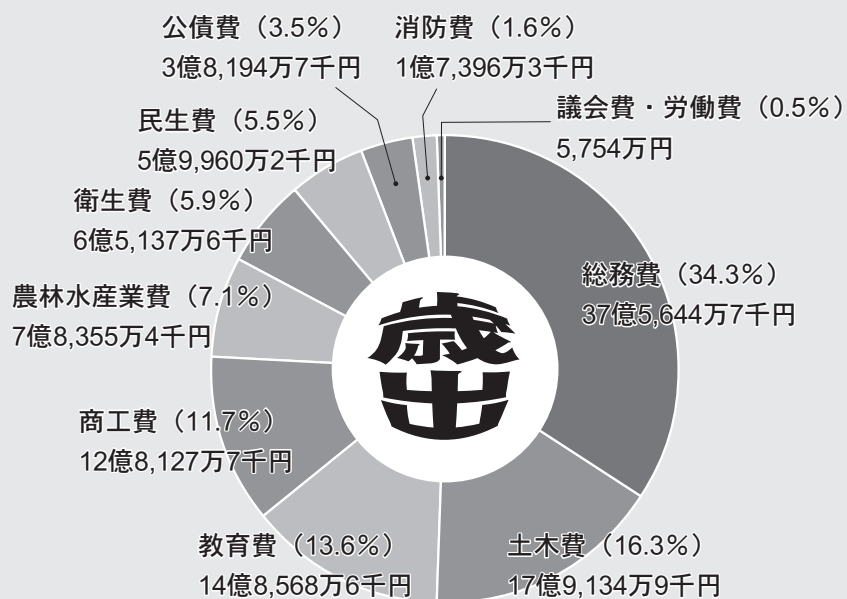
2,021万8千円

総合運動場等管理事業（繰越）

総合運動場テニスコート2面をオムニコート（砂入り人工芝）へ改修しました。

実質単年度収支額 (単年度収支+実質黒字要素-実質赤字要素)
2億5,085万4千円
※単年度収支に当該年度に措置された黒字要素（積立金・繰上償還）や赤字要素（積立金取り崩し）を加味した指標。

経常収支比率
92.4%（前年度比0.3%増）
※当該年度の一般財源が、どの程度経常的収支に充てられているかを示す指標。



※構成比は100%にならない場合があります。

※各項目の総額は実際の歳入歳出総額と合わない場合があります。

平成30年度の 特別会計決算

暮らしに関わる 会計チェック

平成30年度の特別会計決算を
全員一致で認定しました。

(9月19日・定例会)

町の特別会計は国民健康保険
や簡易水道事業など、暮らしに
直結した事業を実施するための
会計となっています。このた
め、住民の負担軽減や健全財政
維持を目的に10会計中9会計が
一般会計からの繰り入れを受け
ています。

当年度の特別会計決算におけ
る概要については下表のとおり
です。

各会計決算質疑

国保税の収入減
要因は

問 牧山議員 (国民
健康保険) 保険税
の収入減がみられる。財
政運営主体が県へ移行し
た影響はあるのか。

保険者数や
税額減少による

答 税務課長 後期高
齢や社会保険への
移行などが要因となり、

保険者数が平成26年度末
から5年間で約450名
減少している。また県移
行に伴う賦課方式変更
により、一人あたりの保
険税が年額約5千円減少
している状況。これらの
要因により収入が減少
した。

経常収支比率増加
町の考えは

問 黒岩議員 (一般
会計決算) 行政需
要の多様化などが要因と

平成30年度特別会計決算概要

特別会計名	歳入決算額	歳出決算額	差 引	一般会計繰入金
国民健康保険	7億4,352万6千円	7億696万4千円	3,656万2千円	4,521万8千円
へき地診療所	9,364万5千円	8,116万1千円	1,248万4千円	1,720万円
簡易水道事業	2億4,324万9千円	2億1,713万1千円	2,611万8千円	1億389万7千円
農業集落排水事業	8,571万4千円	7,762万4千円	809万円	5,162万1千円
公共下水道事業	3億3,420万7千円	3億1,384万5千円	2,036万1千円	1億3,598万円
介護保険	5億7,573万6千円	5億3,730万5千円	3,843万円	7,205万8千円
生活再建支援事業	1,642万8千円	1,404万円	238万8千円	—
後期高齢者医療	9,102万7千円	8,531万4千円	571万2千円	2,242万9千円
浄化槽整備事業	530万4千円	456万4千円	73万9千円	222万5千円
浅間園事業	4,563万円	3,541万3千円	1,021万7千円	1,700万円

※千円未満切捨

特別会計とは？

⇒一般会計と区分して経理するため、条例で設置する会計のこと。

町の基金（貯金）はいくら？

基金は町が特定の目的をもって条例で設置する資金や財産のことです。平成30年度末現在における主な町の基金状況は下表のとおりとなっています。



主な基金状況（平成30年度末現在）

基金名	増減	残高
財政調整基金	5億8,843万7千円	28億410万円
多目的基金	869万9千円	1億1,572万1千円
減債基金	△7,650万円	8億3,793万8千円
地域福祉基金	101万2千円	6,340万3千円
ハッ場ダム周辺整備事業施設管理基金	2億2,165万3千円	14億7,966万6千円
ふるさと応援基金	5,774万9千円	1億4,152万円

答

総務課長 当町の比率は県内平均程

県内平均比率
需要に応える事業を

なり、経常収支比率が増加傾向にある。この比率に固執しすぎるのは問題だが、町の考えは。

度で良好と捉えている。比率を下げる簡単な方法としては事業を抑えることである。町としては町民ニーズに応えるための事業は必要であると考えており、今後も新たな事業を検討していきたい。



▲当カードの申請方法はこちら（マイナンバーカード総合サイト）

答 町民生活課長 平成30年度は60件の交付となっており、平成28年の交付開始より現在まで623件交付している状況である。今後は健康保険証として使用が可能となる。当カードに対する不安を払拭しながら推進していきたい。

不安の払拭や
推進へ努力する

問

大羽賀議員（一般会計） 本町におけるマイナンバーカード取得状況は。また当カードの活用機会を増やし、町でも推進していく必要があると考えるがどうか。

マイナンバーカード
推進を

平成30年度における財政健全化比率については左表のとおりです。なお各事業・特別会計における資金不足比率については、資金に不足がないため掲載していません。

■財政健全化判断比率一覧

実質赤字比	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
－％ (15.0)	－％ (20.0)	9.2％ (25.0)	－％ (350.0)

※数値が無い場合「－」を記載

※（ ）内は早期健全化基準

町財政は
健全？

用語解説

実質赤字比率

一般会計などに生じる赤字の程度を表し、財政運営における悪化の度合いを示す指標。

連結実質赤字比率

全会計における黒字と赤字を合算し、町で生じている赤字の程度を示す指標。

実質公債費比率

借入金の返済額の大きさを3ヶ年平均で算定し、資金繰りの程度を示す指標。

将来負担比率

翌年度以降に負担する（見込まれる）債務の大きさを示す指標。



ここが知りたい！

一般質問

質問者	質問内容	ページ
黒岩 巧 議員	①町イベント今後の考えは ②「キャンプの町」発信どうか	13
萩原 宗仁 議員	ハッ場ダム関連 地域振興施設 維持管理の考えは	14
入澤 信夫 議員	特殊詐欺対策 補助の状況は	14
浅井 直輝 議員	災害発生時 町の対応方法は	15
大羽賀 進 議員	高齢ドライバー支援対策を	16
牧山 明 議員	代替地安全対策 公開説明を	17
梶野 寛丈 議員	学校統合の課題 目指す教育あるか	18
星河 明彦 議員	福祉・外出支援バス 利便性向上を	19

※紙面の都合により要約・省略などの編集を行っておりますのでご了承ください。

※掲載順は実際の質問順と異なる場合があります。

宝くじ公式サイトで
宝くじを購入できる
ようになりました！

宝くじ公式サイトはコチラから



お得な特典、便利なサービスいろいろ！宝くじ公式サイト会員登録ステップ

STEP1

「宝くじ公式サイト」を検索！
メールアドレスの登録
(仮登録)

「宝くじ公式サイト」を検索して、
宝くじ公式サイトの
新規会員登録ページで
メールアドレスを
登録(仮登録)します。

STEP2 会員情報の入力(会員登録)

- ① 入力いただいたメールアドレス宛に、
メールが届きます。
- ② メールに記載されている
会員登録用のURLをクリックします。
- ③ 画面に従って、氏名や生年月日等の情報を
入力いただくと新規会員登録が完了します。

宝くじ売り場でポイントをためる／つかうための手続きは以上で完了

宝くじ公式サイトのネット購入をご利用の方は、
引き続き次のSTEP3の手続きをお願いします。

STEP3 決済情報の入力

ネット購入をご利用される方は、
宝くじを購入するための
「クレジットカード情報」および
当せん金のお受け取りに利用する
「口座情報」をご登録ください。

以上で、カンタン・便利な宝くじの
「ネット購入」がご利用
いただけるようになります！

本件に関する
お問い合わせ先

宝くじコールセンター TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料) TEL 011-330-0777 (有料)
受付時間 10:30～18:30 (土・日・祝日、年末年始を除く) ※電話番号を十分ご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

一般質問とは？

⇒議員が町長などに対し、町政に関して質問するもの。

ながのはらまち議会だより 10月 No. 121

12



①町イベント今後の考えは

②「キャンプの町」発信どうか

①発足する新組織で検討 ②関係機関での協議必要

問

①町内各団体において、人手不足や高齢化などを理由に主催イベントの中止論がでている。継続が難しい町内イベントがある中、町長の考えと今後の方向性について伺う。

②第3次キャンプブームが起きている。様々なニーズに対応できる本町を「キャンプの町」として発信することで、地域活性化などにつながると思うがどうか。

答

町長 ①地域の各イベントは町の発信や地域振興の役目を果たしている。この一方で地域の負担となっている

ことは理解している。

今後の方向性については来年度に新組織を発足し、課題などを整理しながら検討していきたい。

②町内では様々なスタイルのキャンプを楽しむことができ、ハッ場ダム完成による新アクティビティの登場などは町における発信の大きなチャンスと捉えている。

議員提案の発信については賛成である。まずは町内キャンプ場のネットワーク構築を行い、その中で協議が必要となる。

問

①イベント開催における負担増により、主催者側が楽しめない

答

町長 ①主催者や地域の声が重要と考えている。

町の課題は人材育成である。担い手不足については人口減少だけが要因でなく、若者が参加できる状況を構築しなかった我々の大きな責任であると考えている。
新組織のテーマは「つ

いという課題がある。また外部からの高評価が主催者側の誇りにつながっておらず、住民意識とかけ離れている点もある。まずは継続させるための方法を検討するべきと考えており、今後は更なる資金・人力的支援も必要ではないか。

②町内キャンプ場には

多くの人が訪れている。様々なネットワークを広げながら発信していくべきである。

なぐである。少しでも地域の企業・団体などをつなげていくことで、人材育成や良い環境の構築ができるのではないかと考えている。

②基本的方向性は賛成だが、ブランディングに関わる。キャンプ関係を仕事としている方がどう考えるかも問題である。新組織でも検討する必要があるが、様々な声を聞きながら慎重に検討するべきである。



町内では様々なイベントが開催されます
(写真：北軽井沢炎のまつり)

ここが知りたい！
一 般 質 問

ハッ場ダム関連

地域振興施設 維持管理の考えは



はぎわら むねひと
萩原 宗仁 議員

基金充当し 新組織で検討

問

ハッ場ダム関連事業により、建設される地域振興施設の維持管理などに充てるためのハッ場ダム周辺整備事業施設管理基金の使用方法はどうなっているか。

また当初の公社設立構想に代わる組織の立ち上げについて考えは。

答

町長 当基金は条例で使用目的が明記されている。議会とも協議しながら適正に使用していく考えである。

公社に代わる組織ではないが来年度発足する新組織（13ヶ参照）で維持管理などを検討していきたいと考えている。

ここが知りたい！
一 般 質 問

特殊詐欺対策 補助の状況は



いりさわ のぶお
入澤 信夫 議員

申請件数低迷 広報に努力

問

県内でも振り込め詐欺などの特殊詐欺が多発している。町が実施する詐欺被害等防止機能付き電話機の購入設置補助における現況は。

答

町長 当事業は昨年度に開始し、チラシ配布などにより周知を実施した。

しかし、現在までの申請件数は計4件と低迷している。最近は警察による講話の中で紹介していただいております、今後も広報活動に努力していく。

問

被害防止や情報共有のため、移動販売車を利用する周知方法もあるのではないかと。

答

町長 特に高齢者には寄り添った周知をする

必要がある。移動販売車事業は色々なところにつながる事業だと考えており、委託業者とも協議していきたい。

また特殊詐欺は地域のつながりで防止ができるものと考えている。再度地域のつながりを復活させていくことも重要である。

▶詐欺被害等防止機能付き電話などの購入補助についてはこちら





災害発生時 町の対応方法は



8月25日に小規模噴した浅間山
※現在の噴火警戒レベルは2

砂災害ハザードマップの

答

町長 本町では災害発生に備え、土

問

浅間山の小規模噴火や周辺地域の土

砂崩れなど災害が多発している。災害発生時における町の体制、町民・観光客などに対する避難情報の周知方法などはどういうになっているのか。

**情報提供ほか
防災意識向上促す**

答

町長 素晴らしいマニユアルなどを

避難所の所在地や物資情報を明確化し、避難所運営マニュアルの策定などを実施するべきである。また停電時の対応として、避難所へ発電機導入などを検討するべきではないか。

問

避難所の所在地や物資情報を明確化

全戸配布など防災情報発信や提供を行っている。災害による被害の未然防止には、町民の防災意識向上が重要であると考えている。羽根尾区の自主避難訓練などは意識向上の最適方法と捉えており、町内全地区で実施できよう支援していく。

作成・配布しても保管場所を忘れてしまう方は多いと思う。この一方で非常時において自主的に行動できる方は少ないのではないか。まずは「自分たちの命は自分で守る」という意識向上や環境をつくり出していくべきであると考えている。

委員会活動報告

英語教育 小中で連携



中央小にて説明を受ける様子

10月1日、総務文教常任委員会は教育委員会合同による学校事務調査（東中学校区）を実施しました。

この事務調査は町内学校などを訪問し、経営方針の確認や教育現場における問題・要望などの視察調査を行うものです。

今回の調査では、来年度から本格実施となる小学校の英語教育などについて課題が挙げられました。既に町では各中学校の英語教諭が各小学校で授業を行うなど、小中学校の連携がとれた対応がなされており、更なる発展が期待されます。



▲ハザードマップなどはこちらからダウンロードできます

発電機などについては未導入の場所がほとんどである。命を守った段階に必要な物資や電気の確保を怠らないよう努力したい。

高齢ドライバー 支援対策を



早急に 補助制度創設目指す

問 近年、高齢ドライ

バーによる交通事
故が多発している。踏み
間違いを防止する装置へ
の補助など、高齢ドライ
バーに対する支援対策が
必要と考えるがどうか。

答 町長 本町では4
月より運転免許証

を自主返納された高齢者
に対し、助成金を交付し
ている。

今後は福祉バスや外出
支援バスの利用促進を進
めつつ、踏み間違い防止
装置導入に対する補助制
度について検討したいと
考えている。

問 公共交通機関が少
ない中、車がない



生活は考えられない。当
装置への補助制度創設な
どを検討し、直近の定例
議会で審議できるよう努
力を求める。

答 町長 補助制度は
早急に創設したい

と考えており、創設後の
周知も重要だと捉えてい
る。超高齢化社会を迎え
るにあたり、町の取り組
みは重要である。ご協力
をお願いしたい。

議会傍聴のご案内

あなたも議会を 傍聴しませんか？

▶傍聴案内に
ついてはこちら



傍聴席から見える景色のイメージ

受付票を受付箱に
投函するだけ！

議会定例会や臨時会はどなた
でも傍聴することができます。

なお開会時間は開催日により
異なります。傍聴を希望される
際は長野原町議会事務局（☎0
279・82・3019）まで

お問い合わせください。

【傍聴の流れ】

- ①議場に直接お越しください。
- ②受付票に必須事項を記入して
ください。
- ③受付箱に投函します。
- ④受付は終了です。
静かに傍聴をお願いします。

次回定例会予定
令和元年12月定例会
5日（木）
12日（木）
19日（木）



まきやま あきら
牧山 明 議員



代替地安全対策 公開説明を

水没地域から
不安の声あれば必要

問 ハツ場ダム建設に伴う代替地の安全対策などについての説明が未だ不十分と感じる。

試験湛水が間近に迫る中で専門家同席の公開説明会を開く必要があると考えるがどうか。

答 町長 多数の水没地区住民より不安の声があれば、移転者対



試験湛水を開始したハツ場ダム

象の説明会や各地区のダム対策委員会への説明などが必要と考える。

なお試験湛水の際、国土交通省が安全性の確認を実施予定であることについて各地区のダム対策委員会へ説明している。

問 国土交通省の説明は誠実性を欠いていると感じる。

ダムは自然条件を人工的に変えて建設する。安全性の確認ができずに試験湛水を実施させるのは問題である。町長の決断で公開説明会の実施ができると考えるがどうか。

答 町長 町民の生命や財産を守るのは

首長の使命である。また様々な意見を聞きつつ、異なる視点から安全対策を国へ要望しているところ。

水没地域住民の理解を深める説明会の開催なども良いと考えるが、地域外の住民がどれだけ心配しているか疑問である。町は地すべりよりも崖

活動報告

吾妻郡 町村議会 議員研修



多くの吾妻郡内町村議会議員が参加

人口減少問題 考え方学ぶ

10月10日(木)、議員研修会(吾妻郡町村議会議長会主催)が東吾妻町コンベンションホールで開催され、本町議会議員

が参加しました。

今回は山下祐介氏(首都大学東京教授)による人口減少問題に関する講演が行われ、当問題に対する考え方などについて知識を深めました。

崩れや100年に一度の雨による土砂災害の心配が大きい。ハツ場ダムの安全対策も重要だが、まずは町民の防災意識向上のため、各地区で自主避難計画を策定したいと考えている。地域の代表である各議員には、策定に向けてリーダーシップをとっていただきたい。

学校統合の課題 目指す教育あるか



かじの ひろたけ
梶野 寛丈 議員

自立と共生 土台の教育など推進

問 学校統合問題を検討するにあたり、

根本的な課題などについてどう考えているのか。また町の目指す教育について何か考えはあるか。

答 教育長 人口減少などが要因で児童

数や生徒数が減少し、集団が小さくなり過ぎている現状などが根本的な課題となっている。

合併した場合に生じる



問 学校統合問題は将来の町教育を考えながら解決していただきたい。

町の特色を生かして学校教育のあり方を変えて

課題として、環境や通学などの変化による影響が想定される。また合併しない場合は学校行事や部活動運営などへの影響が考えられる。

町の目指す教育として

「自立と共生」という教育理念が挙げられる。今後も基礎学力の定着や生活習慣確立など「土台の教育」に取り組み、学校教育・社会教育・家庭教育の中で展開していく考えである。

いくのは難しいと考えている。教育を「学び」という大枠で捉え、子どもから大人までが学ぶ町づくりが必要である。「学び」こそ町の活力や人材育成となり、町長提唱の「生きる力を育む町」につながるかと考えている。

この実現に向け、地域の素材を活用した学びの場を形作るプロジェクトチームの設立はどうか。

答 教育長 現在も浅間園やキャンプ場

などを学びの場として利用するなど、プロジェクトチームの基礎となる部分はあると考えている。今後も検討を重ねていきたい。

問 町民が学ぶ喜びな

どを感じられるような町づくりが必要である。子どもの未来を想う親の願いをどうにか形に

していただきたい。

答 町長 統合問題を解決すれば町の教育問題が終わるものではないという指摘と捉えている。

プロジェクトチームの設立については言及できないが、最終的に「自立と共生」という理念に尽きると考えている。この課題を共通認識として捉え「生きる力を育む町」における一つのポイントとして真剣に議論すべきである。



今年度、入学生が不在であった第一小学校

ここが知りたい！
一般質問



ほしかわ あきひこ
星河 明彦 議員

福祉・外出支援バス 利便性向上を



主に通院支援を目的とした福祉バス

ニーズ把握し 支援体制の拡充検討

問 町総合戦略では令和元年までに福祉バス利用者数50人増を目指しているが、登録者数は横ばいで利用者数は減少している。また外出支援バスの登録者も少ない状況にある。高齢者の運転免許証における返納支援のためにも、ニーズを

把握して運行方法を改善するべきではないか。

答 町長 平成30年度における福祉バス利用者数は減少しているが、外出支援バスをあわせる目標を上回っている。今後はニーズの把握などを行いつつ、外出支援体制を拡充していきたい。

問 広報不足だけでなく、乗車場所まで移動できない方もいるのではないか。今後の取り組みや広報について様々な手段を検討するべきだと考えるがどうか。

答 町長 利用者はそれぞれのニーズに合致したバスを選択していると考えられるが「運行が少ない」「好きな時に利用できない」などの声もある。今後の事業展開や新施策についても検討していく必要がある。

また新事業である移動販売車も交通弱者対策として期待しており、様々な意見を頂きながら今後の展開を検討したい。

広報については完璧な周知方法はない。様々なツールを駆使しながら周知徹底していきたい。



◀外出支援バス事業についてはこちら



▶福祉バス事業についてはこちら



24日は北海道・東北・関東地区が対象です

活動報告 全国町村議会 広報研修会

広報作りのポイント 知識深める

9月24日、シェーンバツハサポー（東京都）を会場に全国の町村議会議員を対象とした広報研修会が開催され、広報委員が参加しました。

今回は3名の講師による講演が行われ、読まれる広報づくりのポイントなどに関して知識を深めました。



編集後記

全国町村議会広報研修会（19^頁参照）にて、議会広報における役割や編集におけるポイントなどを学びました。

講師によると広報紙は「手段」であり、議会広報紙は議会に興味を持ってもらうきっかけの提供に徹する必要があるとのこと。このため、住民の声を編集・記事に反映させる工夫が必要となります。

今回の研修を生かし、今後の議会活動や本町議会、たよりの充実に向けて取り組んで参ります。

◎広報委員

委員長	黒岩 巧
委員	牧山 明
	萩原 宗仁
	梶野 寛丈

吾妻郡民スポーツ大会 連覇ならずも 玉入れ競技大健闘！

9月22日、中之条中学校校庭をメイン会場に第58回吾妻郡民スポーツ大会が開催されました。

玉入れ競技には議員・特別職合同チームと林分館婦人チームが出場し、2連覇を目指して競技に挑みました。結果は惜しくも準優勝となり、2連覇を逃しましたが健闘を見せました。

（写真：合同一斉投げ）

